



みたか環境ひろば

令和5年7月1日号 vol.84

みんな読んでね!



1

サーキュラーエコノミー

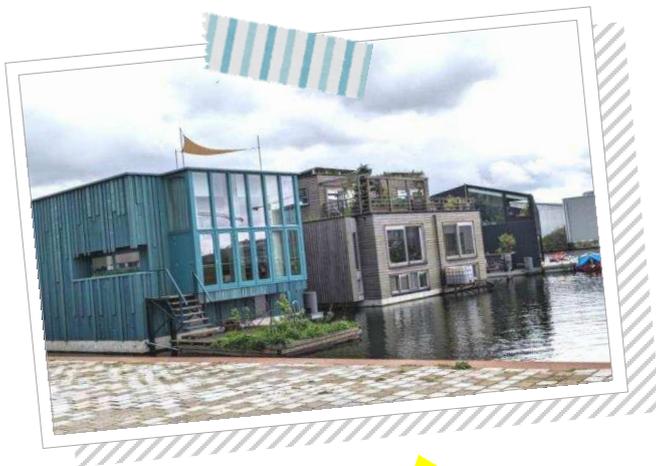
—アムステルダムを訪ねて—

サーキュラーエコノミーとは、物を捨てずにすべての資源を使用し続ける仕組みを構築する循環型の経済モデル。その中で大切な理念は、Profit（経済的利益）、Planet（地球環境）、People（人々の幸福）の3つのPのバランス。

オランダは、2050年までに社会全体を完全にサーキュラーエコノミー化することを宣言。カカオ産業に横行する児童労働をなくそうとするトニーズ・チョコロンリーやリース式ジーンズのマッド・ジーンズ、携帯電話を自分で修理できるフェアフォンなどの企業の取り組みは有名。街の中に公共コンポストがあり、そこから出来た堆肥は野菜作りに供給されている。造船所の跡地では、サーキュラーエコノミーの実証実験が行われており、太陽光発電や廃棄物を利用す

るコミュニティでの循環の仕組みが考えられ、地域を再生する取り組みが行われている。近くには、循環のしくみはもちろんで、それに加え、河川の水の熱エネルギーをも利用した河川に浮かぶフローティング・コミュニティがある。海面が上昇してもコミュニティが崩壊しないサステナブルなコミュニティの実証実験がされている。

地球の資源には限界がある。日本も廃棄物を出さずに資源として活用し続ける仕組み、持続可能な社会づくりをもっと考えていくべきだと思った。
(藤田)



(左)フローティング・コミュニティ
(右)造船所の跡地の再生の取組

環境クイズ

右の2つのゴミ、プラスチックとして出せるのはどれ？

- ① 軽くすすいで匂いや汚れが気にならない納豆の容器
- ② 「30%引き」や商品名のシールが付いたお惣菜の容器

答えは裏面!

2

快適な室内で過ごすために

今年5月から一日の最高気温が夏日を超える日が何日か続きました。

室内でも熱中症には注意しなくてはならない程度です。室内では冷房を入れて過ごす事が推奨されていますが、電気代も値上がりしており悩ましい問題だと思います。また環境負担軽減やSDGsの観点からも私たち全員にとって、エネルギー消費のムダを抑えることが急務となっています。そこで冷暖房エネルギーの消費を抑えながら暮らしを快適にできる「高断熱」の住宅について考えてみませんか？

住まいの中で、熱の出入りが一番大きいのは窓やドアといった開口部です。窓の断熱性を高めると、住まいの快適性をグンと改善します。既存のアルミ製のサッシは、夏の暑さや冬の寒さが室内に伝わってしまいます。熱の伝わり方が小さい樹脂製のサッシに変える事で、暑い夏や寒い冬でも室内温度の変化を少なくさせ冷暖房を効率よく使用することができます。

高断熱省エネ住宅への一歩として窓のサッシを見直してみませんか？
(中島)

3

ひとつの疑問

最近気になっている事があり、どなたか分かるかたがいればお聞きしたいと思い書くことにしました。

先日ほたるいかが出ていたので、カラシ酢味噌で美味しく食べたのはよかったです。大きさが何か小さい。そういえば、はまぐり、あさり、さざえ、あわび、みな最近のものが一回りも二回りも小さい。こう感じられるかたは、私だけではないのでは

でしょうか。

環境問題といっても範囲は広く茫漠としていますが、これは私にとってきわめて身近でリアルなひとつの問題と言えます。魚屋さんに聞いてみてもいまいち要領を得ない。どなたか分かるかた、分からなくとも推理できるかた、ヒントが浮かぶかた、どうか教えていただければ幸いです。
(籠宮)

4

街路樹はグリーンインフラ

桜の開花は例年より早く3月20日頃、連休の頃に咲くはずのハナミズキや藤の花も4月の半ばには咲いていました。原因は勿論高温の日が続いたため、5月17日、18日はなんと東京で30℃以上の真夏日を観測しました。今年の暖かい春について気象庁は、様々な要因の一つとして地球温暖化も影響していると説明しています。夏はこれから、来たるべき猛暑を乗り越えられるか心配です。真夏に外を歩けば熱中症が心配ですが、木陰があるとほっとします。環

境省のレポートに「日向と木陰で感じる暑さの違い」があります。気温が30℃の時、日向は歩道や車道からの放射熱で50℃近く、しかし木陰では葉っぱのあたりが30℃位で足下でもおよそ32℃で気温と同じくらい。この20℃の差は大きいです。三鷹市は緑が多い方ですが、暑熱ストレスを押さえるために、街路樹を植えたり、公園を造ったり、保水性舗装の道路に変えるなど環境づくりに力を入れていただきたいものです。
(大谷内)

答

① ○ ② ○

どちらもプラスチックでOKです！

- ①洗剤で洗う必要はありません。容器に水をためてしばらく置いて。その後水で流せばこすらず簡単にネバネバを落とせます。
- ②シールを剥がして、残ってしまったものは無理に剥がさなくてもOK。容器が汚れていたら水ですすいで。きちんとプラスチックに分別して出せば資源です！

次回の発行は令和5年10月の予定です

発行：みたか環境活動推進会議

(愛称 みんなの環境)

連絡先：三鷹市生活環境部環境政策課

電話：0422-29-9612(直)

E-mail：kankyo@city.mitaka.lg.jp



本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。